

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372800215
事業所名	グループホーム みどり

【重点項目への取組状況】

重点項目 ①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	コロナ禍によって地域行事の中止が相次ぐ中、子供会の獅子舞が隣接の特別養護老人ホームとグループホームを訪れた。ホーム内へ入ることはなかったが、利用者は久しぶりの獅子舞を楽しんだ。地域との交流も中断されており、近くの公園に散歩に出て、行き交う人と挨拶を交わす程度の関わりである。	○
重点項目 ②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	過去1年間の運営推進会議は、コロナの感染状況が緩んだ3回は対面開催、残り3回が書面開催となった。書面開催の場合、事前に開催方法(書面開催)を連絡した上で電話を入れ、意見の収集を行っている。集まった意見は、ホームの運営状況の報告とともに、「地域運営推進会議報告書」として会議メンバーに配付している。	○
重点項目 ③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	新型コロナウイルスへの感染防止の観点から、市の担当課を訪問することは最小限に留めている。対面での(通常の)運営推進会議には、必ず市の高齢介護課から担当者の参加があり、有益な意見や助言をいただく等、市とホームとの連携は図られている。	○
重点項目 ④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	コロナの感染状況を見ながら、家族面会の方法を決定している。現在は制限付きで家族面会を認めており、事前予約を入れた上で、玄関ロビーにてパーテーション越し、短時間(15分程度)の面会が可能である。その折に、職員が家族の意見や要望を聞き取っている。	○
重点項目 ⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

過去1年間の運営推進会議は、コロナの感染状況が緩んだ3回は対面開催、残り3回が書面開催となった。
--

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								